



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.12 (153)

2016.12.26

2016年も残り数日となりました。「みざる・いわざる・きかざる・せざる」で始まった「サル年」も、本当に素早く去っていきます。それでも、今年一年、会員の皆様とともに印象にのこる多くの事象をご一緒いたしました。本研究会にとって実り多い一年であったと思います。来たる2017年を会員の皆様とともにさらに楽しく、かつ印象にのこる佳い年にしたいと存じます。会員の皆様には「佳い年」をお迎えください。

1 ウィンター・フォーラム2016が以下の次第で開催されました[敬称略].

(1)活動報告会2016

日時：2016年12月3日(土). 9時20分～17時00分.

会場：豊中市立中央公民館

プログラム：

開会挨拶：松原義弘

座長：勘場 貢・河合統介・富金原 悟・藤澤正樹・志賀 功・辻 光宏

閉会挨拶：白旗慎吾／指導・討論：越智義道

- 尾崎寿昭：形状不変モデルと2016年を振り返って
- 池田敏広：p値に関する最近の話題
- 吉田 歩：線形関係式の推測と実際
- 谷岡健資：多重性を考慮した無作為化比較第 II 相試験の 2 段階デザインとその評価
- 山口祐介：ネットワーク・メタ・アナリシスにおける試験間分散の推定とその評価
- 五十川直樹：Efficacy evaluations for small Japanese patient population in global studies in terms of the dose-response relationship
- 吹谷芳博：「研究テーマ：多変量データの順序付け」と BRA と私
- 川端ゆみこ：Boag モデルの推測と評価について
- 大江基貴：平滑化 ROC 曲線における離散型共変量のモデル化について
- 米山昭成：血中濃度データへの曲線分解の実践的応用と「冬季セミナー」と私
- 大佐賀 智：フローサイトメトリー・データの解析手法について
- 下川敏雄：臨床データに対するサブグループ抽出法の開発
- 藤澤正樹：成書の構成について
- 河合統介：2016年を振り返る
- 後藤昌司：計画と遂行の過程 2016



—活動報告会2016でのひとこま—

(2)納会2016

日時：2016年12月3日(土). 17時30分～22時00分.

会場：順平





－納会2016でのひとこま－

2 定例研究会[東京]2016-12-16が以下の次第で開催されました[敬称略].

日時：2016年12月16日（金）. 13時30分～17時.

会場：ファイザー株式会社 23E03会議室

演者・演題：

五十川直樹. Assessment of power-normal distribution in Bayesian approach.

丸尾和司. 医学データにおける歪んだ分布の中央値の推測.

藤澤正樹. 臨床評価におけるデータマネジメントの過程のテキストについて.

高瀬貴夫. テーマ検討：医学統計研究会特定主題シンポジウム2017年6月開催.

河合統介. 最近の話題.

後藤昌司・松原義弘. 「印象に遺る情景：豊後での足跡」（故 佐久間 昭先生のこと）

課題検討会は「正々堂々」で開かれ、8名の方々が参加されました。来年にかけての抱負などの課題で熱く楽しい議論が交わされました。







－定例研究会[東京]2016-12-16のひとこま－

3 冬季セミナー鹿児島2016が以下の次第で開催されます [敬称略].

日時：2016年1月21日（土）9時30分～17時

会場：鹿児島県文化センター：第5会議室

開会挨拶：後藤昌司／閉会挨拶：藤崎恒晏

座長：勘場 貢・藤澤正樹・河合統介・越智義道

指定討論：松原義弘・越智義道・後藤昌司

プログラム：

明石弥樹：WinNonlin の Computerized System Validation (CSV) 実施例について

村中健太：Split-mouth design におけるランダム化方法の性能定量化及び比較

田中勇輔：個別データと要約データを用いた生存時間のメタ・アナリシスの方法について

上田一輝：セミ競合リスクのもとでの 2 変量事象時間データの比較について

吹谷芳博・松原義弘：多変量データの順序付け ～多変量 2 標本問題への適用について～

谷岡健資：多重性を考慮した無作為化比較第 II 相試験の 2 段階デザインとその評価

福井敬祐：年齢・時代・コホート効果分析によるがんの経時経時変動要因分析

米山昭成：血中濃度データへの曲線分解の実践的応用

川端ゆみこ：Boag モデルの推測と評価

池田公俊：一般化ポアソンモデルに基づく症例数設計

伊藤ゆり：がんにおける社会経済指標による格差

下川敏雄：樹木モデルに基づく治療効果のサブグループ摘出手法とその応用

丸尾和司：医学データにおける歪んだ分布の中央値の推測

坂本 亘：Bayes 流 APC モデルによる日本人のがん死亡率データの解析

杉本知之：逐次型多変量ログランク統計量とその応用

4 今後に予定されていますシンポジウムなどを以下に記します。ご参集をよろしくお願いいたします。

(1) 特定主題シンポジウム2017が開催されます。プログラムは以下のとおりです[敬称略].

日時：2017年2月4日（土）. 10時00分～17時20分.

会場：アステラス製薬(株) 日本橋本社 8階ホール

プログラム：

- ・開会の挨拶 廣岡 秀樹(アステラス製薬株式会社) 座長 河合 統介(ファイザー株式会社)
- ・国際共同治験におけるアダプティブデザインの統計的留意点 杉谷 利文(アステラス製薬株式会社)
- ・国際共同試験における少数例の地域の治療効果を評価する統計的方法 五十川 直樹(ファイザー株式会社)
- ・欧米規制要件としての小児外挿とベイズ・ボロウイングによるサイズ設計の文献例 今井 康彦(BMS株式会社) 座長 富金原 悟(小野薬品工業株式会社)
- ・アジア国際共同試験における経験(仮) 青木 真(アステラス製薬株式会社)
- ・これまでの MRCT と E17 ガイドラインを踏まえたこれからの MRCT 山本 英晴(中外製薬株式会社)
- ・国際共同治験で予後因子が地域別の結果に及ぼす影響 大石 雅彦(MSD株式会社) 座長 松原 義弘(特定非営利活動法人 医学統計研究会)
- ・国際共同試験立案に留意すべき諸因子 熊谷 雄治(北里大学)
- ・パネルディスカッション
- ・閉会の挨拶 後藤 昌司(特定非営利活動法人 医学統計研究会)

(2)大分統計談話会・第55回大会が以下の次第で開催されます[敬称略].

日時：2017年2月9-10日（木-金）.

会場：富士通大分システムラボラトリ

プログラムは既に配信中です. ここでは, 特別講演のみを以下にご紹介します[敬称略].

・特別セッション1（2017年2月9日）

丸尾和司・元垣内広毅：「遊学一如」の教えと実践
 河合統介・藤澤正樹：「掃除・勤行・学問」の過程
 後藤昌司：「遊」と「学」の創造：人間的魅力の醸成

・特別セッション2(2016年2月10日)

松原義弘：「50年よく遊び、よく学び、よく働き」(仮)
 藤崎恒晏：「現代の「西郷隆盛」像」(仮)
 白旗慎吾：「智の「照れや」」(仮)

5 2016年の結びにあたり、本年の「活動実績」の一端をご報告いたします。本年に、シンポジウムは3回、セミナーは1回開催され、総計187名（有料参加者111名、講師・スタッフ39名、協力会社聴講者37名）の方々にご参加いただきました。各シンポジウムとセミナーの開催テーマ、開催場所、参加者の内訳は下表のとおりです。有料参加者の会員別内訳では、非会員69名、賛助会員16名、正会員22名、一般会員4名でした。ご講演いただいた諸先生、および参加・聴講いただきました皆様方に心から御礼申し上げます。今後とも、ご支援の程をよろしくお願いいたします。

開催シンポジウムとセミナー

開催テーマ	開催場所	有料参加者	講師スタッフ	聴講者
特定主題シンポジウム (2016. 1. 30) 「臨床評価におけるバイオマーカの活用」	アステラス製薬(株) 日本橋本社別館	36名	12名	24名
特定主題シンポジウム (2016. 6. 18) 「臨床評価におけるデータの蓄積とその活用： メタ・アナリシスとその実際」	エーザイ (株) 小石川ナレッジセンター	29名	10名	7名
特定主題セミナー (2016. 8. 4-5) 「臨床評価におけるデータマネジメントの過程」	生涯学習センター ばるーん	13名	7名	
定例シンポジウム (2016. 10. 29) 「医療で必要とされる統計的基礎知識」	ファイザー (株)	33名	10名	6名

会員区分別参加者

会員区分	参加者数
賛助会員	16
正会員	22
一般会員	4
非会員	69
総計	111

所属区分別参加者

所属区分	参加者数
製薬企業	56
CRO	35
病院	8
大学	5
研究所	5
その他	2
総計	111

 編集後記：例年の繰り返しであるが、今年も「あっ」と言う間に暮れようとしている。年齢に応じて時の経つ感覚が異なるようである：以前に教えられたことであるが、10代未満：幼年，20代：少年，20代：青年，30代：壮年，40代：成年（熟年），50代：実年，60代：残年（残念），70代：無年（無念），80代：死年（至年），90代：何や年，となるそうである。
 皆さん佳いお年を！・・名和田 潜

Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範
 連絡先：医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。